



光石 研さん・俳優

1961年9月26日生まれ。北九州市八幡西区黒崎出身。16歳の時に映画「博多っ子純情」でデビュー。以降、数多くのドラマや映画で活躍中。2023年公開の主演映画「逃げきれた夢」は北九州市が舞台。

武内市長と北九州市出身の俳優・光石研さんが対談し、新年の抱負などを語り合いました。

※北九州国際映画祭2024の際に実施

地元出身の名優が語る、北九州市への思い

市長 今日（よ）はよろしくお願ひします。光石研さん、皆さんよくご存じのとおり、北九州市出身…というか、もう「黒崎出身！」ですよ？

光石さん（以下、敬称略） いやいやいや、そうなんです、黒崎出身で。

市長 北九州市が誇る、名優であられる。「逃げきれた夢」がカンヌ国際映画祭にも出品されるなど、ご活躍は皆さんご存じのとおりです。

光石 本当（まこと）にありがとうございます。

市長 光石さんがいろんな仕事のたびに必ず北九州に来てくださる、これは本当にうれしいんですよ。

光石 帰（かえ）ってきたいんですよ。本当にそうなんです。飛行機でも新幹線でも、関門海峡を越（こ）え（る）とね。この福岡の地（ち）だけじゃなくて九州どこでも、その地（ち）を踏（ふ）むと何かほっとするんですよ。

市長 舞台挨拶（たいがいさつ）などでも、「黒崎、黒崎」っておっしゃっている。あれがものすごく愛（あい）を感じ（かん）じて仕方（しかた）ないんですよ。



光石 僕は18歳で東京に出たんですけど、その時は東京に憧（あこが）れて「もう二度（にど）と帰（かえ）ってこないぞ」と、そのつもりでいたんですけどね。ごんごん年齢（ねんれい）を重ね（か）ねていくと、やっぱり帰（かえ）巢（ね）本能（ぼん能）が…。

市長 「自分がどこから来たか」って、年齢を重ねると深く考えてしまいますよね。

光石 いくら拭（ぬ）いても拭（ぬ）いきれないフレーバーが出てくるんだなって思（おも）って。

市長 「逃げきれた夢」でも、黒崎でのシーンがもう板（いた）についてリアル過ぎて。光石さんの方言（ひょうげん）を聞いてると、今（いま）も黒崎現（げん）役（やく）って感じがします。

光石 18年間（ねんかん）しかあの言葉（ことば）を使（つか）ってないはず（はず）なんです。とうに45年（ねん）、東京（とうきょう）弁（べん）を

使（つか）つ（つ）て（て）る（る）方（かた）が（が）長（なが）い（い）の（の）に（に）。こ（こ）れ（れ）は（は）本（ほん）当（とう）に（に）不（ふ）思（し）議（ぎ）で（で）す（す）ね（ね）。

映画でもイベントでも北九州の人たちの熱意に感謝

市長 改めて北九州のどこが一番お好きですか。

光石 やっぱ一番は人（ひと）です（す）ね。僕（ぼく）、映画（えいが）の現場（げんば）でよく聞（き）くん（くん）です（す）けど、と（と）にか（か）く（く）北（きた）九（く）州（しゅう）市（し）は（は）ロ（ロ）ケ（ケ）が（が）し（し）や（や）す（す）い（い）と（と）。山（やま）も（も）あ（あ）る（る）し（し）、都（と）会（かい）も（も）あ（あ）る（る）し（し）、海（うみ）も（も）あ（あ）る（る）し（し）、何（なに）でも（でも）で（で）き（き）る（る）と（と）。危（あぶ）ない（ない）こ（こ）と（と）も（も）結（むす）構（か）く（く）や（や）ら（ら）せ（せ）て（て）も（も）ら（ら）え（え）る（る）（（笑））。（道（みち）路（ろ）を（を））封（ふう）鎖（さ）し（し）た（た）り（り）爆（ばく）破（ぱ）し（し）た（た）り（り）。で（で）も（も）そ（そ）れ（れ）以（も）上（じょう）に（に）、北（きた）九（く）州（しゅう）の（の）人（ひと）た（た）ち（ち）が（が）エキ（エキ）ス（ス）トラ（トラ）と（と）し（し）て（て）参（さん）加（か）し（し）て（て）く（く）だ（だ）さ（さ）る（る）熱（ねつ）意（い）が（が）す（す）ご（ご）い（い）ら（ら）しい（い）ん（ん）です（す）よ（よ）。

市長 エキストラ、今（いま）は（は）9000人（にん）ぐ（ぐ）ら（ら）い（い）る（る）ん（ん）です（す）よ（よ）。あ（あ）り（り）が（が）たい（たい）です（す）ね（ね）。

光石 そう！市長、聞（き）いて（て）く（く）だ（だ）さ（さ）い（い）。戦（せん）争（そう）の（の）シ（シ）ーン（ーン）な（な）の（の）か（か）な（な）？（？）メイ（メイ）ク（ク）さん（さん）が（が）一（ひと）人（にん）に（に）メイ（メイ）ク（ク）し（し）て（て）た（た）ら（ら）、北（きた）九（く）州（しゅう）の（の）エキ（エキ）ス（ス）トラ（トラ）の（の）人（ひと）た（た）ち（ち）は（は）、「ち（ち）よ（よ）つ（つ）と（と）貸（か）し（し）っ（っ）！」と（と）言（い）っ（っ）て（て）自（じ）分（ぶん）で（で）や（や）る（る）ん（ん）です（す）っ（っ）て（て）。「こ（こ）れ（れ）じ（じ）ゃ（ゃ）汚（け）し（し）が（が）足（た）り（り）な（な）い（い）！」と（と）。み（み）ん（ん）な（な）ノ（ノ）リ（リ）ノ（ノ）リ（リ）で（で）や（や）っ（っ）て（て）く（く）だ（だ）さ（さ）る（る）っ（っ）て（て）。こ（こ）れ（れ）が（が）面（めん）白（しろ）い（い）し（し）う（う）れ（れ）しい（い）し（し）、あ（あ）り（り）が（が）たい（たい）、っ（っ）て（て）言（い）っ（っ）て（て）ま（ま）した（た）ね（ね）。



北九州市からのお知らせ

映画の街・北九州

北九州市は映画関係者から「撮影しやすい街」として絶大な信頼を得ています。各地で映像作品のロケが頻繁に行われ、公開後は、ロケ地巡りに市内外から人々が訪れています。そんな「映画の街・北九州」を支えているのは、「北九州フィルム・コミッション」の熱意と北九州市ならではの多彩なロケーション、そして撮影を支えるボランティア・エキストラや、撮影を温かく見守ってくださる市民の皆さんです。



北九州フィルム・コミッション(KFC)とは？

北九州市が1989年から映画やドラマなどの撮影誘致・支援に取り組み、2000年に設立した組織です。まちを挙げた取り組みは高く評価され、「東京ドラマアワード2014・特別賞」「第23回福岡県文化賞」「平成28年ふるさとづくり大賞」など数々の賞を受賞しています。今後もKFCの活動を通して北九州市の知名度アップや来訪客の増加につなげていきます。

令和5年度実績 誘致・支援数 41作品 経済波及効果 1億円

「映画の街」を支える力

他都市ではできない大規模ロケに積極的に挑戦！

街なかでの爆破シーンや空港でのハイジャックシーンなど、国内では不可能とされてきた大規模ロケを関係先の協力も得ながら成功させてきた実績は、国内外の映画等の制作関係者から高く評価されています。



雄大な自然や歴史的建造物、昔ながらの味わい深い市場やパワフルな工場群、近代的な都市景観など、北九州市には多様な名場面の舞台がそろっています。

市民の皆さんの温かい見守りと積極的なボランティア参加

9000人を超えるエキストラやボランティアが長期・長時間に及ぶこともある撮影を支えています。また、ロケに伴う道路や施設の利用制限も、市民の皆さんのご理解とご協力により実現できています。



「北九州国際映画祭2024」が11月に開催されました！

1年に一度、多くの映画や映画人が北九州市に里帰りし、撮影を支えていただいた市民の皆さんと間近に交流するイベントです。令和6年は、船場広場など各所での映画上映や市民参加型企画などが行われ、多くの人に足を運んでいただきました。

